



アメリカとは何か

—アメリカ史の文脈から考える



姜 尚中 東京大学大学院教授
政治学

奥平 康弘 東京大学名誉教授
憲法学

日時 2008年
11月26日(水)
11:00~12:30 (開場10:50)

場所 聖学院大学 チャペル
埼玉県上尾市戸崎1-1
JR宮原駅・日進駅より学生バスがあります

21世紀の衝撃的な幕開けとなった<9.11>から7年。「唯一の超大国」として君臨するアメリカは、混迷の度合いを深めつつ、今どこへ向かおうとしているのか。激動するアメリカを長い歴史の文脈の中で見つめることで、根底に流れるものに肉薄できるだろうか。「表現の自由」を問い続けてきた憲法学者・奥平康弘氏と、政治の新たな地平を論じ続けてきた政治学者・姜尚中氏が、アメリカを論じる。



**入場
無料**

【主催】 聖学院大学 政治経済学部

お問合せ

聖学院大学 総務課 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 TEL 048-781-0925 FAX 048-726-2962

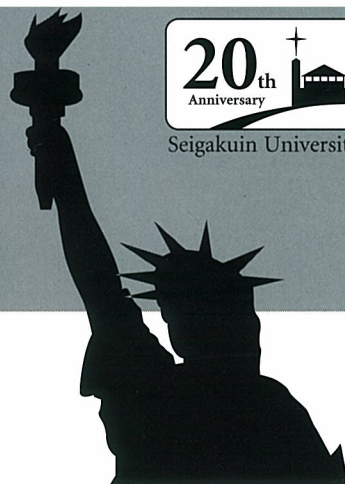
E-mail: pru@seig.ac.jp URL: <http://www.seigakuin.ac.jp>

会場案内図



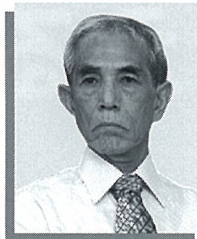
アメリカとは何か

アメリカ史の文脈から考える



プロフィール

おくだいら やすひろ



奥平 康弘 東京大学名誉教授／憲法学

1929年、北海道函館に生まれる。1953年、東京大学法学部卒業と同時に東京大学社会科学研究所助手。1959年より米国ペンシルベニア大学ロースクールに留学。東京大学社会科学研究所教授、国際基督教大学教授等を経て、現在、東京大学名誉教授。オーストラリア国立大学客員研究員、米国コロンビア大学ロースクール客員研究員、ベルリン自由大学客員教授等を歴任。専攻は憲法学。とりわけ表現の自由をめぐる諸問題に、絶えず鋭い問題提起を行ってきた。2004年6月に発足した「九条の会」に九人の呼びかけ人の一人として参加。主著に『表現の自由I・II・III』『憲法III』（有斐閣）『なぜ「表現の自由」か』（東大出版会）『治安維持法小史』『知る権利』『いかそう日本国憲法』『憲法裁判の可能性』『「表現の自由」を求めて—アメリカにおける権利獲得の軌跡』『「萬世一系」の研究—「皇室典範的なもの」への視座』（岩波書店）『憲法にこだわる』『憲法の想像力』『憲法を生きる』（日本評論社）他多数。

カン サンジュン



姜 尚中 東京大学大学院教授／政治学

1950年、熊本県に生まれる。1979年、早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了、旧西独ニュルンベルク大学に留学。国際基督教大学準教授等を経て、1998年、東京大学社会情報研究所教授。現在、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授。専攻は政治学・政治思想史。行動する知識人として、現代社会が直面する困難な問題にさまざまなメディアを通じて鋭く発言してきた。著書に『マックス・ウェーバーと近代』（岩波現代文庫）『オリエンタリズムの彼方へ』（岩波現代文庫）『ナショナリズム』（岩波書店）『東北アジア共同の家をめざして』（平凡社）『増補版 日朝関係の克服』（集英社新書）『反ナショナリズム』（講談社+α文庫）『在日』（集英社文庫）『姜尚中の青春読書ノート』（朝日新書）『悩む力』（集英社新書）他多数。共著に『ナショナリズムの克服』（集英社新書）『デモクラシーの冒険』（集英社新書）『グローバル化の遠近法』（岩波書店）『戦争の世紀を超えて』（講談社）他多数。

近日発刊! 講演会でお求めいただけます(11月以降を予定)

シリーズ 時代を考える

「創造するリベラル」 加藤紘一・姜尚中

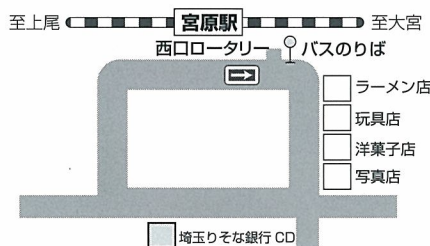
■編:聖学院大学政治経済学部
■発行:新泉社

日本の進むべき道を語り合う。確固としてリベラルを貫く政治家・加藤紘一と、時代の趨勢を明快に論じる政治学者・姜尚中が、今後の日本の課題を鋭く簡潔に指摘する。

交通手段

聖学院大学の最寄駅はJR高崎線宮原駅/JR埼京線日進駅。「大宮」から1駅で、どちらの駅からも徒歩約15分です。宮原駅・日進駅から学生バスを運行しています(どちらの駅からも5分~10分ほどです)。ご利用下さい。

学生バス 宮原駅西口(高崎線)のりば



宮原駅発: 10時31分、43分、45分
大学発: 12時35分、43分、13時00分

学生バス 日進駅(埼京線)のりば



日進駅発: 10時05分、35分、55分
大学発: 12時35分、13時05分

お問合せ

聖学院大学 総務課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1-1 TEL: 048-781-0925 FAX: 048-726-2962

E-mail: pru@seig.ac.jp URL: http://www.seigakuin.jp